

小正月の伝統行事を現在に伝える！



じえんこまき（上田代）

1月16日（木）、上田代地区で「じえんこまき」が行われました。「じえんこまき」は、牛馬の神様とされる蒼前様に牛の健康や家内安全を祈願し、神棚で清められた縁起のよい小銭、米などを家の前で撒く小正月の伝統行事です。

以前は他の地区でもこの「じえんこまき」が行われていましたが、現在まで続いているのは、この上田代でのみとなっています。

また、今年は3年ぶりの開催となりました。

この日は、いつにない晴天となり、多くの人たちが集まり、主から小銭が豪快に撒かれると、老若男女を問わず満面の笑顔で元氣よく拾い集めていました。

村のブランド野菜「寒立菜」、学校給食に登場！



おいしく食べる児童たちの様子

1月15日（水）・16日（木）、村のブランド野菜である「寒立菜」が学校給食の食材に使用されました。「寒立菜」は栄養価・食味などを高めることを目的に「寒締め」という寒さにさらす処理をしながら栽培したホウレンソウです。夏場のホウレンソウと比較して甘みが強いことが特徴です。その寒さに耐えながら生育する姿から寒立馬にあやかっ「寒立菜」と名付けられました。平成29年度から栽培が始められ、今年度でデビューから3年目を迎えています。

15日（水）は「寒立菜」の甘みを生かすおひたし、16日（木）は寒さにさらされ厚みを増した葉ならではのみそ汁の献立でした。「かんだくん」がプリントされた給食用食器に「寒立菜」が盛付けられ、児童たちはとても嬉しそうに喫食していました。

1年生の児童たちは、「緑色がとてもきれい」、「甘くておいしい」、「ほうれん草は苦手だけどこれなら食べられる」、「また食べたい」等の感想を話してくれました。

これからも、東通村の特産品を学校給食に提供し、地産地消に取り組んでいく予定です。

東通村漁業連合研究会通常総会開催

東通村漁業連合研究会表彰状授与者		
所 属	氏 名	備考
尻屋漁業研究会	濱端 元一	感謝状
尻屋漁業研究会	向井 祐樹	特別表彰
野牛漁業研究会	杉本 現貴	特別表彰
野牛漁業研究会	圓子 和哉	会員表彰
尻屋漁業研究会	南谷 幸喜	会員表彰
尻屋漁業研究会	三國 邦博	会員表彰



受賞者と来賓のみなさん

1月16日（木）、村体育館において東通村漁業連合研究会（二本柳亮会長、小田野沢）通常総会が開催されました。

開会にあたり、役員及び会長を務められた1名、永年に亘り役員として務められた2名、漁業研究活動にご尽力された3名の方に二本柳会長から表彰状及び記念品が贈呈されました。

その後、二本柳会長の挨拶に続き、越善靖夫村長より「水産業を取り巻く環境は、資源の減少による生産量の低下、魚価の低迷、燃油・資材の高騰により、漁業経営は依然として厳しい状況にあるため、漁港や水産施設の基盤整備の他、「つくり育てる漁業」に係る水産振興施策を推進していきます。」との祝辞が述べられました。

また、丹内俊範村議会議長より祝辞が述べられた後、議事に移り、令和元年度事業報告及び収支決算、令和2年度事業計画と収支予算が承認されました。

総会最後には、海上保安庁八戸海上保安部交通課専門官佐藤幸夫氏より「小型漁船の海難防止について」と題して講演がありました。